2026年

11 その② 学校便り 里浦っ子

令和８年度No.12



文責：校長

令和８年度スローガン

笑顔いっぱい「わたしが創る！」楽しい学校

～気づき、考え、行動しよう～



鳴門市人権教育推進強調月間

令和8年11月10日～12月10日

人権教育推進月間にあわせ、11月の朝会の校長の話は、人権やいじめ防止がテーマでした。話の概要は次のとおりです。ご家庭でもこの文章をお読みいただき、お子様といっしょに人権について考え、話し合っていただけたらと思います。

11月は「人権教育推進強調月間」です。「人権」とは、難しい言葉ですが、簡単に言うと「一人ひとりが大切にされ、誰もが安心して幸せに過ごす権利」のことです。

校長先生は、この里浦小学校に通うみなさん全員のことが大好きです。全員が、毎朝笑顔で学校に来て楽しく過ごせるようにするために、今日は「いじめ」についてお話しします。いじめを絶対しないという人もいるかもしれません。でもそれはどうでしょう。そう思っていても知らず知らずいじめをすることがあるのです。「ちょっと言い返しただけやし」「遊びでやった」「冗談のつもりだった」と思うことはありませんか。

やっている自分は「遊び」のつもりでも、されている友達は、本当は嫌で、悲しくつらいのです。「相手も笑っていたから大丈夫」と言うかもしれません。でも我慢して無理に笑っていることだってあるのです。相手が少しでもいやな思いをしていたら、それはもう「遊び」ではなく「いじめ」です。人の心を傷つける行為です。体の傷と違って、心の傷は目に見えません。だから恐ろしいのです。

そして、もう一つ、とても恐ろしいことがあります。それは「一人ではしないことも、みんなと一緒ならやってしまう」ということです。例えば、誰かが誰かの嫌がることを言ったり、いじわるをしたりしたとき、「みんなも笑っていたから」「見ていただけで、やってはない」そう思ったことはありませんか。残念ですがこんな言い訳はよく耳にします。一人ならしないことも、「みんな」という集団になると、急に人の痛みに気付けなくなってやってしまうことがあります。これは本当に恐ろしいことです。一緒になって笑ったり、真似をしたり、見て見ぬふりをしたりすることも、いじめに協力していることになるのです。



「いじめは絶対にあってはならない」のです。そのために、今日から全員に約束してほしいことが3つあります。

①「自分がされたら嫌なこと」は、絶対にしない。

②「みんながやっているから」ということに流されない。善悪を自分できちんと判断して行動する。

③もし嫌な思いをしている友達を見たら、「やめな」と止めたり、すぐに先生に教えて助けたりする。

もし今、「自分も嫌なことをしてしまったかも…」と心当たりのある人がいたら、今この瞬間から行動を変えてください。もし辛い思いをしている人がいたら、一人で抱え込まずに、校長先生や担任の先生、おうちの人、誰でもよいので相談してください。一人一人の正しい行動で、学校を安心して過ごせる楽しい場所にしていきたいと思います。みんなで、誰もが安心できる楽しい里浦小学校をつくりましょう。

芸術家派遣事業

11月13日（金）

全学年を対象にコンテンポラリーダンスの出前授業を行いました。講師は、ダンスカンパニー yummydanceさんで、愛媛県を拠点に活動されている皆様です。まず、いろいろな動きを体験して体と心をほぐした後、学年ごとに即興で創作ダンスを作っていきました。子どもたちは、目を輝かせながらいろいろな動きにチャレンジし、体全体を使って楽しんでいました。





◎今後の主な行事予定（お知らせ）

○卒業式　令和９年３月１６日（火）

６年生と５年生が参列します。

他の学年は、臨時休業となります。

